

# 創業者渋沢栄一に関する講演 「論語と算盤 現代に生きる渋沢栄一思想」

当社社長の大隅が新潟日報政経懇話会会長岡会の6月例会で、「論語と算盤 現代に生きる渋沢栄一思想」について講演を行いました

2021年6月29日付 新潟日報 新潟日報社提供

日 報  
政 経 懇 話 会 会 長  
岡

新潟日報政経懇話会会長岡会の6月例会が28日、長岡市のホテルニューオータニ長岡で開かれ、渋沢栄一が創業し、現在その名を唯一冠した社名を持つ渋沢倉庫（東京）社長の大隅毅氏（長岡市出身）が「論語と算盤 現代に生きる渋沢栄一思想」と題して講演した。写真Ⅱ。道理に基づいた利益の追求や健全な競争が企業と社会を発展させるとし、「事業も社会貢献も、長期的な視点に立つことが重要だ」と渋沢の理念を語った。要旨は次の通り。

渋沢倉庫社長 大隅 毅氏



## 利益追求は道理を基に

立に関わった渋沢は青年期に尊皇攘夷に熱を上げ、その後、幕府方として海外を視察。帰国後は官僚、実業家として活躍した。渋沢にとって立場は手段でしかなく、国家を思う強い志が常に根底にあった。個人が豊かにならうとする思いや努力は、技術の進歩は生まれな

い。渋沢は、持続的な経済発展には孔子の「論語」の精神が必要だと説いた。  
一、渋沢の思想は、ESG（環境・社会・企業統治）、国連が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）など現代の企業が目指す概念に通じる。環境破壊が進むと市場が縮小することを考えれば、将来的な利益の面でも理にかなっている。ただ、企業にとってもメリットがなければ長くは続かない。単なるモラルの面にとどめず、長期的な視点で考えることが大切だ。

当社では、CSR活動の一環として、創業者渋沢栄一のサステナビリティや公益追求の精神等について、地元小学生向け研修等にも積極的に協力しています  
詳しくはCSRページをご覧ください